

第 一 号
2025年2月18日 作成

炭素貯蔵量計算書

カーボンニュートラル 無垢材活用の会

下記期間弊社出荷の、建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量について
林野庁の定めるガイドラインに基づき以下の通り表します

ウイング株式会社
東京都千代田区神田神保町3-2-3
Daiwa神保町3丁目ビル4階
TEL 03-6327-2424
FAX 03-3512-2426



出 荷 期 間 2025年1月1日 ~ 2025年1月31日

国産材の 炭素貯蔵量 (CO ₂ 換算)	木材全体の 炭素貯蔵量 (CO ₂ 換算)
700.5794	8235.1578
t-CO ₂	t-CO ₂

算出の計算式

木材の材積 (m³) × 密度 (t / m³) × 炭素含有率 × 44 / 12 = 炭素含有量 (CO₂換算) (t-CO₂)

■ 炭素貯蔵量を人工林の面積・本数当たりの二酸化炭素蓄積量や一世帯・一人当たりの二酸化炭素排出量と比較する（前提条件は比較前提条件を参照）

2023年5月時点の前提条件に基づく

国産材の炭素貯蔵量（CO₂換算）について

(1) スギ人工林の面積・本数当たりの二酸化炭素蓄積量と比較する場合

スギ人工林	約	1.8	ha分の二酸化炭素蓄積量に相当
東京ドーム	約	0.4	個分の面積のスギ人工林の二酸化炭素蓄積量に相当
テニスコート（ダブルス）	約	70.8	面分のスギ人工林の二酸化炭素蓄積量に相当
スギ	約	1,387	本分の二酸化炭素蓄積量に相当

(2) 一世帯・一人当たりの二酸化炭素排出量と比較する場合

一世帯の約	188	年分の二酸化炭素排出量に相当
一人当たりの	394	年分の二酸化炭素排出量に相当
約	188	世帯の1年分の二酸化炭素排出量に相当

木材全体の炭素貯蔵量（CO₂換算）について

(1) スギ人工林の面積・本数当たりの二酸化炭素蓄積量と比較する場合

スギ人工林	約	21.7	ha分の二酸化炭素蓄積量に相当
東京ドーム	約	4.6	個分の面積のスギ人工林の二酸化炭素蓄積量に相当
テニスコート（ダブルス）	約	832.5	面分のスギ人工林の二酸化炭素蓄積量に相当
スギ	約	16,307	本分の二酸化炭素蓄積量に相当

(2) 一世帯・一人当たりの二酸化炭素排出量と比較する場合

一世帯の約	2,206	年分の二酸化炭素排出量に相当
一人当たりの	4,632	年分の二酸化炭素排出量に相当
約	2,206	世帯の1年分の二酸化炭素排出量に相当

比較する値の算定に当たっての前提事項（2023年5月時点）

※算定に用いる前提について、いずれかの数値や条件等の更新がある場合には、時点を含めて本「前提事項」を更新しています。

■スギ人工林の面積・本数当たりの二酸化炭素蓄積量と比較する場合の前提

- スギ人工林の場合：適切に手入れされている46～50年生のスギ人工林で推定すると、
 - 1ヘクタール（ha）当たり約379tのCO₂を蓄積していると推定（注1）
 - スギ1本あたり約505kg（=0.505t）のCO₂を蓄積していると推定（注2）
 - 東京ドームの面積は、46,755m²（=4.6755ha）（注3）
 - テニスコート（ダブルス）の面積は、261m²（=0.0261ha）（注4）
- （注1）
1ha当たりの「炭素貯蔵量」（379t-CO₂/ha）
＝「スギの幹の体積」（420m³/ha）×「拡大係数」（1.23）
×「1＋地上・地下部比」（1.25）×「容積密度」（0.314t/m³）
×「炭素含有率」（0.51）× 44/12
- ・「スギの幹の体積」（46～50年生）は林野庁「森林資源現況調査」（平成29年3月31日）の全国累計を用いて算出。
- ・「拡大係数」は、地上部バイオマス（幹・枝・葉）と幹バイオマスの比率。スギ（46～50年生）の場合は1.23
- ・「地上・地下部比」は、地上部バイオマスに対する地下部バイオマス（根）の比率。スギの場合は0.25
- ・「容積密度」は、体積を重量に変換するもの。スギの場合は0.314(t/m³)
- ・「炭素含有率」は、樹木の重量あたりどれくらい炭素を含んでいるのかの率。スギの場合は0.51
- ・44/12で、炭素あたりを二酸化炭素あたりに変換

（注2）

46～50年生のスギ人工林1haに750本の立木があると仮定した場合。

（注3）

東京ドームの面積は46,755m²（<https://www.tokyo-dome.co.jp/tourists/dome/about.html>）

（注4）

テニスコート（ダブルス）の面積は261m²（23.77m×10.97m）

<https://www.itftennis.com/media/7221/2023-rules-of-tennis-english.pdf>

■一世帯・一人当たりの二酸化炭素排出量と比較する場合の前提

- 一世帯から1年間に排出される二酸化炭素の量（2021年度値）3,733kg（=3.733t）（注）
- 一人当たり1年間に排出される二酸化炭素の量（2021年度値）1,778kg（=1.778t）（注）

（注）

出典：温室効果ガスインベントリオフィスウェブページ（2023年4月公開値）

（<http://www.gio.nies.go.jp/index-j.html>）

（※）排出量は、以下の(1)～(4)の合計値。

- (1)家庭のエネルギー消費（電力消費も含む）に伴うCO₂排出量
- (2)自家用車の使用に伴うCO₂排出量
- (3)ごみ処理時に発生するCO₂排出量
- (4)水道利用（浄水場でのエネルギー利用等）に伴うCO₂排出量